

# 島根原子力発電所の運転状況 (平成22年 5月)

## I. 1号機

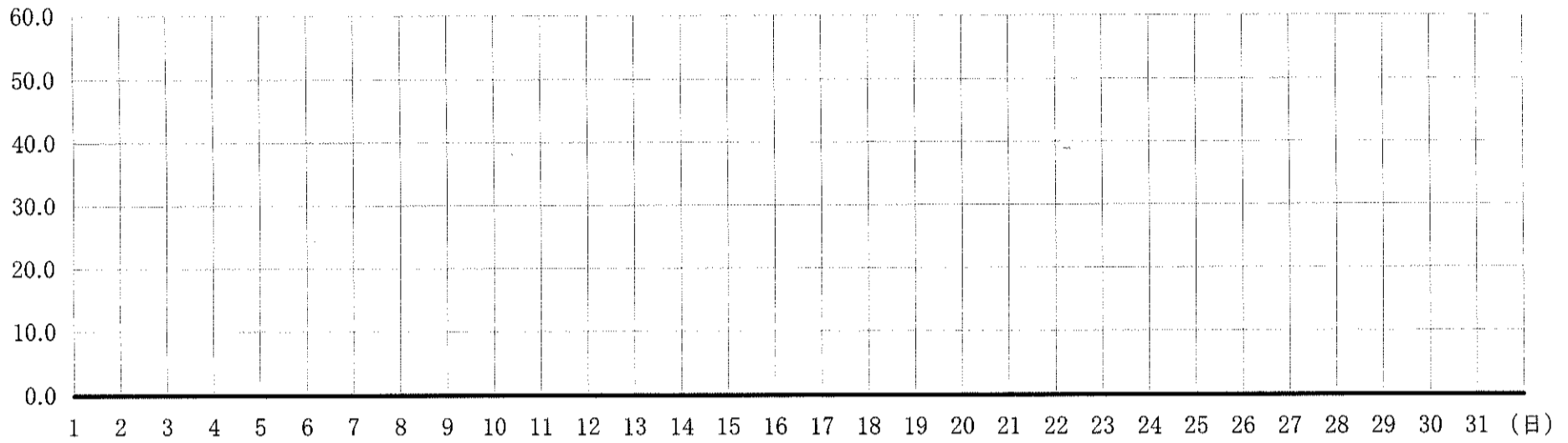
### 1. 運転状況

発電時間 0 h      発電電力量 0 万 kWh      設備利用率 0 %

### 2. 主要項目

なし

(万 kW)



### 3. 特記事項

停止中 (自主点検)

## II. 2号機

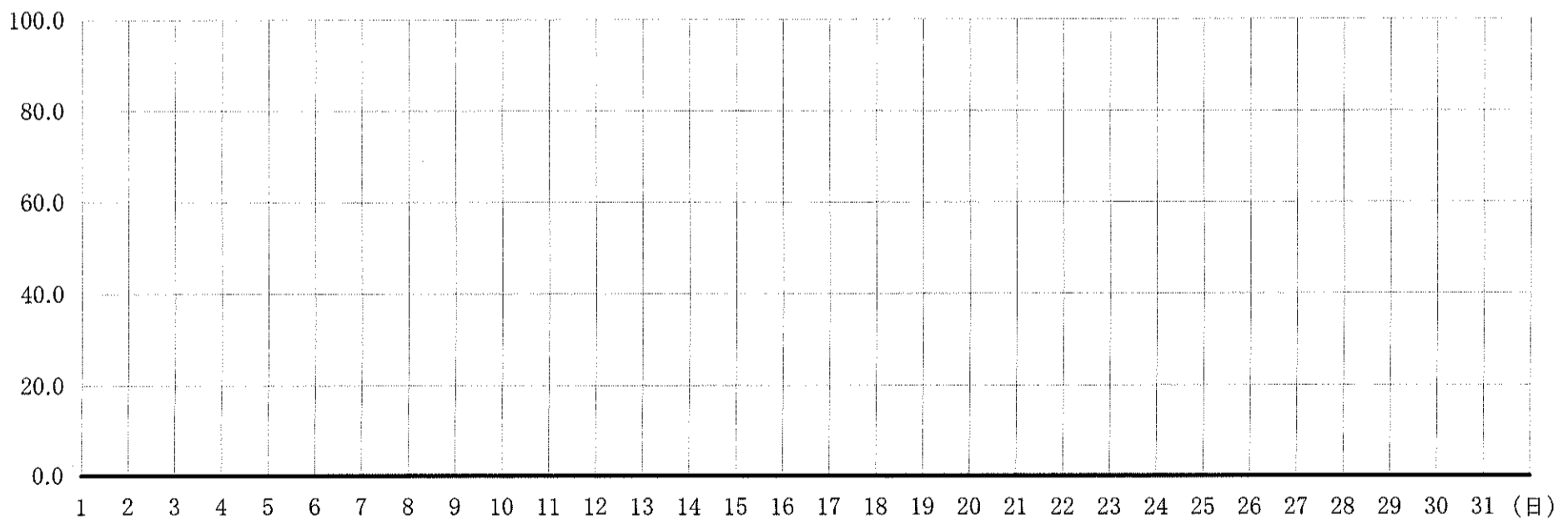
### 1. 運転状況

発電時間 0 h      発電電力量 0 万 kWh      設備利用率 0 %

### 2. 主要項目

なし

(万 kW)



### 3. 特記事項

第16回定期検査中

## III. その他

別紙参照

## 【特記事項】

その他

- (1) 平成22年5月20日(木)10時00分頃、島根原子力発電所サイトバンカ建物において、協力会社作業員が作業エリアの空気浄化用に設置している小型排風機のスイッチを入れたところ起動しなかったため、予備の排風機を使用し作業を行った。平成22年5月21日(金)9時20分頃、当該排風機のスイッチを入れたところ、前日同様に起動しなかったことから、連絡を受けた当社社員が当該排風機の電源盤を確認したところ、ブレーカの端子部分に焦げ跡を確認し、11時45分に松江市消防本部に連絡した。同消防本部による現地確認の結果、12時55分に本事象は非火災と判断された。
- (2) 平成22年5月24日(月)10時00分頃、当社社員1名がパトロールのため、飛び地の放射線管理区域(補助サージタンク室)に入域する際、個人線量計の内、警報付ポケット線量の着用を失念し、当該線量計を未着用のまま約3分間入室するという事象が発生した。  
なお、警報付ポケット線量計とともに着用が義務付けられているガラスバッジは着用していた。当該エリアの放射線量と立入時間から、警報付ポケット線量計未着用時の本人の線量は「0.00mSv」と評価した。
- (3) 平成22年5月28日(金)11時00分頃、放射線管理区域内で作業を終えた協力会社作業員1名が、放射線管理区域用衣服を脱衣し、退域手続きをしていたところ、直前まで着用していた放射線管理区域用衣服のポケットの中に、警報付ポケット線量計を忘れたことに気付き、同線量計を回収するため、放射線管理区域用衣服を着用していない状態で再度放射線管理区域に入域するという事象が発生した。  
なお、警報付ポケット線量計とともに着用が義務付けられているガラスバッジは着用していた。当該エリアの放射線量と立入時間から、警報付ポケット線量計未着用時の本人の線量は「0.00mSv」と評価した。
- (4) 現在、保守管理の不備並びに定期事業者検査の一部未実施に係る報告徴収等に関する点検を実施している。  
平成22年6月3日(木)、「島根原子力発電所の保守管理並びに定期事業者検査に係る調査報告(最終)」を経済産業大臣に提出し、島根県および松江市に連絡した。

以上